認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク 2020年度(令和2年度) 事業報告書

I. 事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②「アレルギー大学事業」および「医療機関における患者家族への食事指導事業」を基盤事業として発展させる。

Ⅱ 事業の実施に関する事項

- 1. 特定非営利活動に係る事業
- (1)情報の普及・啓発・交流事業

各地で行われる「アレルギーの会」の交流会、講演会、ホームページなどを通してアレルギーに関する科学的知識の普及啓発及び交流を行う。

1)アレルギーの会支援事業

事業内 容

- 1. 会の設立と活動を支援するため、保健所・保健センターなど地域の保健機関や市民活動推進センター、子育てNPO団体などと連携をして、既存の会の活動支援と、要望の強い地域があれば会の新規設立支援をする。名古屋市内のアレルギーの会については、各区の保健センター(保健所)と連携した支援ができるよう働きかけをする。
- 2. 「東海アレルギー連絡会」の事務局として、東海アレルギー連絡会の目的である「アレルギーなどの問題解決に関する活動」を行う。給食問題などアレルギー施策の向上をめざし、各地のアレルギーの会と協働して、自治体や諸団体への普及啓発活動や、平常時の災害対策活動と災害時の相互支援活動を行う。また、研修会や勉強会の機会を設ける。
- 3. 各会が運営資金を得ることができるよう、小口の助成金の獲得ができるように支援する。
- 4. アレルギーの会を支えるリーダーのスキルアップを図るため、アレルギー大学基礎〜上級に参加する会のリーダーおよびリーダー候補(各会3人以内/年)の資料代・材料費を免除し、中級・上級の受講については交通費も補填する。
- 5. 事務局スタッフのスキルアップをはかるため、学会や研究会等に参加をする。

結果

1. 会の設立と活動支援

Web交流会(一部会場)を開催し、のべ38回、206名に活動支援をした。

新型コロナ感染拡大の状況の中、年度初めより会場での開催自粛で、交流会が開催出来ない会が多い為、 患者会支援の在り方を見直し、ZOOM Meetingの仕組みを活用したWeb交流会を、8月に試験実施。 9月からは、支援ネット主催で、毎月15日に、定例で患者交流会の開催計画を立てた。また、地域の患者会のzoom 交流会のホスト役を担い開催支援を実施。また『名古屋西アレルギーの会』設立の準備支援を行った。

① 支援ネット主催 毎月15日の交流会 ※4月~8月は会場開催中止した。

開催日	テーマ	参加人数
9/15(火)	無し	9名(会員団体 4団体、個人2名)
10/15(木)	入園入学準備と災害対策	9名(会員団体 5団体、非会員団体 1団体、個人 5名 茅野市・鈴鹿市)
11/15(日)	アレルゲンを除去するとエネルギーが足りない?!	12名(会員団体 7団体、個人2名 群馬)
12/15(火)	伊藤浩明先生とお話ししよう!!	20人(会員団体 6団体、非会員団体 1団体、個 人6名 茅野市・シンガポール・兵庫)
1/15(金)	「修学旅行と野外学習のアレルギー対応 について、先輩ママに聞こう!」第1弾	14人(会員団体 7団体、個人7名伊勢市・シンガポール・札幌)
2/15(月)	入園入学準備について	9人(会員団体 4団体、個人4名 伊勢市·神戸市)
3/15(月)	「修学旅行と野外学習のアレルギー対応 について、先輩ママに聞こう!」第2弾	13人(会員団体 10団体、個人3名 江南市・伊勢 市)

② 岐阜県内交流会 2カ月に1回 (Web開催)

8/27(木) フリートーク13人(会員団体 6団体)

10/29(木) 岐阜県アレルギー疾患医療連絡協議会委員の方より報告 7人(会員団体 5団体)

1/22(金) フリートーク 4人 (会員団体 4団体)

3/12(金)金子英雄先生とお話ししよう 9人(会員団体 5団体、個人3名)

③ 各地の患者会のZoomホスト役を担う半田・ぶうわ・碧南・ひだっこ・あつまぁれ会

2. 東海アレルギー連絡会 (Web開催)

6/21(日) 総会・第一回交流会 18団体 21名 参加 (37団体中)

10/4(日) 第二回交流会 11団体12名参加

2/27(土) 第三回交流会 10団体と個人参加 13名

- 3. 各会の運営資金 団体会費の減免を実施 (22 団体/38 団体中)
- 4. アレルギーの会のリーダーのスキルアップをはかる
 アレルギー大学インターネット講座・リーダー養成講座開講 10団体 14名受講 豊橋・碧南・あつまぁれ・豊川・多治見 各1名
 一宮・日進・豊田 各2名
 飛騨 3名
- 5. 事務局スタッフのスキルアップをはかる
- 7/31(金) 8/21(金) 9/25(金) 10/16(金) 名古屋市子ども青少年局子ども福祉課主催 食物アレルギー連続講座(講師: 坂本龍雄先生)
- 9/17(木)~9/20(日)日本アレルギー学会学術大会(Web)
- ・10/9(金)ガイドブックをうまく活用してアレルギー対応力の向上へ
- ・10/16(金)アレルギー対応食と厨房における混入防止を知る
- 10/31(土)~11/1(日) 日本小児アレルギー学会学術大会(Web)
- ・2/25 (木) ~3/16 (火) 第21回食物アレルギー研究会 (Web)

2) 地域におけるアレルギー対策推進事業

事業内容 1.

- 1. 自治体などからの受託事業として、アレルギー患者家族の支援を行う。
- i) 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室および親子ぜん息教室)に おいて患者家族の交流会を担当する。
- ii) 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。
- iii) 蒲郡市教育委員会「食物アレルギー対応給食検討委員会」の委員を務める。
- iv)西尾市教育委員会「アレルギー対応委員会」の委員を務める。
- v) 愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会の委員を務める。
- vi) 名古屋市公害保健課「名古屋市乳幼児アレルギー実態把握等に係る検討会議」の委員を務める。
- 2. アレルギー大学修了生に対して地域や職場などへのアレルギー対策の普及啓発活動ができるように支援をする。
- i)人材のスキルアップと組織化を図る。
- ii) 食物アレルギーマイスターおよびサポーターに対して、年に2回程度の会議を開催し、地域や職場などにおける患者支援に関する取り組みの報告と検討をする。

結果

- 1. 自治体などからの受託事業として、アレルギー患者家族の支援を行う。
- i)自己管理支援教室(小学生ぜん息教室および親子ぜん息教室) ⇒全て中止
- ii) 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」
 - ⇒ 6月書面開催 12/15(火)

- iii) 蒲郡市教育委員会「食物アレルギー対応給食検討委員会」⇒ 9/29(火)、12/21(月)、3/22(月)
- iv) 西尾市教育委員会「アレルギー対応委員会」1/29⇒書面開催
- v) 愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会 8月書面開催 3/22(月)Zoom開催 アレルギー講演会(患者家族対象・刈谷市) 10/4(日) 後日Web配信 アレルギー研修会(教育関係者対象・名古屋市) 10/25(日) 後日Web配信(中西) アレルギー講演会(患者家族対象・津島市) 11/28日) 後日Web配信 (伊藤先生)
- vi)名古屋市公害保健課「名古屋市乳幼児アレルギー実態把握等に係る検討会議」 名古屋市における乳幼児アレルギー健診調査 中間報告書の作成 11月に書面開催
- vii) 日本アレルギー協会 アレルギー週間事業 岐阜県「市民公開講座」Web開催 事務局を担う 2/23 (火・祝) 参加人数 42名
- 2. アレルギー大学修了生に対して地域や職場などへのアレルギー対策の普及啓発活動ができるよう に支援をする。
- i)人材のスキルアップと組織化を図る。
- ii) 食物アレルギーマイスターおよびサポーターに対して、年に2回程度の会議を開催し、地域や 職場などにおける患者支援に関する取り組みの報告と検討をする。

第一回 マイスター・サポーター会議 5/24(日) 総会終了後 第二回 マイスター・サポーター会議 2021年 1/31(日) ブラッシュアップ講座(アレルギー大学インターネット講座) の新規開講 マイスター2名、サポーター2名 受講

3) 災害に備える事業

- / - 1 - 1 - 1	NIO O 3 214
事業内容	1. 各地のアレルギーの会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポートをする。
	2. 緊急時のおねがいカードの普及をする。
	3. 学会や災害ボランティアなどの団体と協同する。
	4. 他地域で発生する大規模災害に備える。

結果

- 1. 各地のアレルギーの会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポート 瀬戸市 患者会主催・健康課共催 Web講演会 10/10(土)・10/19(月) 30家族参加 「災害や感染症に備えよう!子育て中のアレルギー対応食ストック法」 支援ネット主催Web交流会(10/15)にて「アレルギーっ子の災害対策」ミニ講座
- 2. 緊急時のおねがいカードの普及 61 件
- 3. 月に1回(第一木曜日) 名古屋災害ボラ連絡会に参加
- 4. 他地域で発生する大規模災害に備える。

4) Webl	こよる情報の	の提供					
事業内容	1. HPの†	の情報の追加と更新をタイムリーに行う。					
	2. faceboo	kに定期的に	活動報告をする。				
	3. メール	マガジンを2カ	月に1回配信する	るとともに、その	の内容の見直しを行	うう 。	
結果	【HP閲覧》	犬況】(2020年	4月~2021年3月	の合計数)			
	閲覧総数	覧総数(訪問数): 1,452,250 セッション平均:121,021 ユーザー平均:109,814					
	【メルマ	「登録者数】3/31現在					
			全体	携帯	パソコン		
		2018年度	2, 437件	847件	1,590件		
		2019年度	2, 484件	836件	1,648件		
		2020年度	2, 782件	830件	1,952件		

5) アレルギー相談事業

	· inext iii
事業内容	E-mailや電話による相談
	ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対し
	て各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う。
結果	【電話による相談件数】
	個人:17件(危機管理3件、治療7件、寝具 1件、災害対策1件、リンク1件、会員1件、給食1件、患
	者会1件、その他1件)
	企業・マスコミ:9件(自治体 1件、マスコミ 5件、その他 3件)
	【E-mailによる相談】 12件

6) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

事業内容	1. アレルギーなどに関わる科学	的知識や実	生活に役立つ	情報を広げ	る講演会や	講習会なと	ぎを行う。
	i)食物アレルギー児の誤食事	故の対策と	:して園や学校	の教職員な	どから要	望の多い講	習会(「アナ
	フィラキシ一対応とアドレ	ナリン自己	,注射器の講習:	会」など)	を年に2回	1程度開催す	る。
	ii)アレルギーっ子のフェア開	催 (2021:	年3月7日(日) 名古屋	国際会議均	易 2 号 館居	秦示室)
	2. 自治体や企業等からの依頼に	応じ講師(アレルギー専門	門医・管理	栄養士など	ご) を派遣す	る。
	3. 各地のアレルギーの会が主催	する講演会	に協力する。				
結果	1. アレルギーなどに関わる科学	的知識や実	生活に役立つ	情報を広げ	る講演会や	講習会なと	ぎを行う。
	i) アナフィラキシ一対応とア	ドレナリン	自己注射器の	講習会 ⇒	中止		
	ii)アレルギーっ子のフェア開	催 ⇒中止	-				
	2. 講演会講師の派遣【依頼先に	ついて 件	数】				
	講師	自治体	園や学校	学童	企業	その他	合計

3. 各地のアレルギーの会が主催する講演会に協力する。

医師·研究者

合計

事務局スタッフ(栄養士他)

(前述) 瀬戸市 患者会主催・健康課共催 Web 講演会 10/10(土)・10/19(月) 30 家族参加 「災害や感染症に備えよう!子育で中のアレルギー対応食ストック法」

(2) 専門職の育成支援事業

1) 「アレルギー大学」事業

事業内容 1.「アレルギー大学」

愛知、千葉、沖縄にてインターネット講座を開講する。

2. 「アレルギー大学ベーシックプログラム」

栄養士や保育士養成校の学生を対象に、アレルギー大学1日集中講座(インターネット講座)を開講し、 修了認定証を発行する。愛知、千葉、沖縄で開講する。

(千葉は「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」、沖縄は「一般社団法人アレルギー対応沖縄サポートデスク」が独立採算で運営する。)

結果

1. 「アレルギー大学」

【受講者人数】(前年度比較)												
会場	のべ 会場 受講		講座			実習			特別講座			修 了 生
	人数	基礎	初級	中級	上級	初級	中· 上級	最新	ダニ	初耳 学	法律	
愛知	1262	248	190	154	122	133	104	80	75	82	74	38
変和	1202	(+125)	(+47)	(+55)	(+47)	(-50)	(-23)	80	2	02	/4	30
千葉	117	17	25	16	16	31	12					3
沖縄	78	66	12									3

2. 「アレルギー大学ベーシックプログラム」※学生のみ

【受講者人数】	配信日期間	人数
WEB講座	11/4 (水) ~12/31 (木)	300

※千葉会場 7/5(日)Z00Mウェビナーによる開講 一般・学生170人受講、沖縄会場未開催

(3)調査研究事業

1) 自主研究事業 今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 外食産業調査研究事業(名芸大共同調査)

事業内容	名古屋学芸大学(和泉教授)と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとに作ったマニュアルを、
	ホテル・旅館で汎用できる内容にし、広く活用をしてもらう。
結果	企業(高速道路SA関係)から依頼があったアレルギー研修において、協働で資料の作成をし啓発活動を
	おこなった。

3)受託事業

① グループインタビュー

事業内容	企業より委託を受け、アレルギー患者家族に対し、グループインタビューを実施する。
結果	植物由来のプリンについて企業より、試食&笑顔撮影企画の依頼をうけ、東海地域を中心に全国の
	患者会より、25名の参加者を募集した。

② アトピー性皮膚炎小児観察研究 (PEDISTAD)

事業内容	「医療用医薬品の外用療法では疾患のコントロールが十分でない、又は外用療法が医学的に推奨され
	ない、中等症から重症のアトピー性皮膚炎を有する小児患者における、前向き、観察的、縦断的研究」
	をあいち小児保健医療総合センターにおいて実施するにあたり、その事務スタッフを派遣する。
結果	あいち小児保健医療総合センターからの委託で、治験コーディネーター業務(EDC入力支援業務・被験
	者対応、電話対応)を行う契約を取り交わし、4人の観察研究を実施し、3人継続中。

③ 日本子ども健康学会学術大会事務局

事業内容	第22回日本子ども健康学会学術大会(学会長:伊藤浩明副理事長)が名古屋で開催されるにあたり、その事務局を担う。
結果	新型コロナ感染拡大の状況下で、Web開催(12/6(日)ライブ配信とオンデマンド配信)の事務局を担った。
	参加者 266名 内、会員171名(子ども健康科学会会員 44名、臨床アレ学会会員 127名)、非会員69名、学生26名 Zoomウェビナー参加者のべ137名、オンデマンド視聴者269名 演者・座長・スタッフ等の招待参加 若干名

(4) 関連用品の販売普及事業

前年度実績

事業内容	定款第三条「この法人は、日本国民に対して、アレルギー、アトピー、化学物質などの問題解決およ
	びその患者支援に関する事業を行い、もってすべての国民の健康で快適な生活に寄与することを目的
	とする。」を達成するため、アレルギーなどの方ができるだけ安心して使用できる日常生活用品等の
	開発、普及、販売等の事業をおこなう。

結果	【売上内訳】						
		寝具	書籍	スキンケア	食品	その他	合計
	2020 年度 上売 上	537 931	2 711 734	149 391	318 937	4 104	3 722 097

3, 431, 084

144, 569

389, 697

94, 456

4, 490, 536

- ① 「おいしく治す食物アレルギー攻略法 改訂第2版」 606冊
- ② 「食べるということ」(エッセイ集) 32冊

430, 730

- ③ 「学童てびき」 191冊
- ④ 「新・食物アレルギーの基礎と対応」 初版 119冊、第2版 306冊

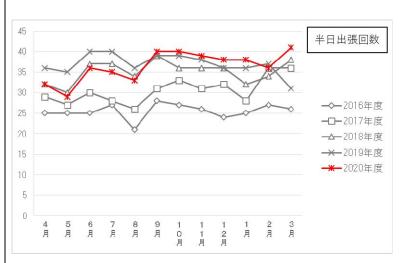
【出品学会】なし 【実施キャンペーン】寝具

(5) 医療機関における患者家族への食事指導事業

- 事 医療機関と委託契約を結び栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。
- 業 | 従事者育成のため、随時あいち小児保健医療総合センターアレルギー科での研修を行う。
- 内 また、現在の出張先で月の契約件数を増やしていく。
- 容 指導は、アレルギー大学を修了、またはそれに相当する管理栄養士で、常勤2名、非常勤7名が担当する。 年1回「出張食事指導運営会議」を開催し、指導件数・食事指導後アンケート調査結果の報告等をし、医師からの要望 や改善提案など、意見交換をする。

結果

2 病院は、半日1回/月の追加指導になった。



	学会・講座	会議 開催日	参加 人数	勉強会内容
2020年4月		4/20	10人	なし
5月		5/18	9人	アレルギーつ子の災害時の対策
6月		6/15	9人	小児における貧血について
7月		7/20	10人	日本小児臨床アレルギー学会一般演題の報告
8月		8/30	8人	なし、同日、出張運営委員会あり。
9月		9/14	8人	作る側からみた給食につて~豊田市の現状について~
	10/31(土)~11/1(日)			
10月	日本小児アレルギー学会	10/18	10人	総合病院におけるPAE管理栄養士の現状と課題
	学術大会(Web)			
11月		11/16	8人	揚げ油のアレルゲン性
	12/6 (日)			
12月	第 22 回日本子ども健康科	12/21	9人	世界の離乳食
	学学術大会(WEB)			
2021年1月		1/18	8人	BLW~Baby Lead Weaning~について
	2/25(木)~3/16(火)			・アレルギーを意識している保護者に対する離乳食支援
2月	第 21 回食物アレルギー研	2/15	9人	・遷延する牛乳アレルギー患者のカルシウム摂取量と骨密度の
	究会 (Web)			調査
3月		3/22	8人	乳児消化管アレルギー

2. その他の事業

- (1) 販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。
- (2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(11年次目) ⇒中止
- (3) 名古屋市立豊正中学校「2年生職場体験学習」受け入れの協力(5年次目)⇒中止